# 京都市都市計画局建築請負工事監督・検査要綱

平成14年3月28日都市計画局長決定

改正 平成15年5月29日、平成17年3月31日、平成23年5月23日、 平成28年3月25日、令和2年3月31日、令和4年6月30日 令和6年4月1日

## 第1章 総則

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方自治法第234条の2第1項、地方自治法施行令第167条の15及び京都市契約事務規則に定めるもののほか、本市が締結した都市計画局の所管に属する建築工事、電気設備工事及び機械設備工事の請負契約の適正な履行を確保するための監督及び検査に関し必要な事項を定めるものとする。

(定義)

- 第2条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところ による。
  - (1) 工事 本市が締結した都市計画局の所管に属する建築工事、電気設備工事及び機械設備工事をいう。
  - (2) 工事担当課 工事の設計及び監督を担当する課をいう。
  - (3) 検査担当課 都市企画部都市総務課をいう。

### 第2章 監督

(監督)

第3条 地方自治法第234条の2第1項の規定による監督(以下「監督」という。)は、工事の契約ごとに工事担当課の長等(工事担当課の長又は工事担当課の担当課長をいう。以下同じ。)又は工事担当課の長等が命じた職員が行う。

(定義)

第4条 この要綱において、「監督員」とは、前条の規定により監督を行う職員で、総括監督員、 主任監督員及び担当監督員とする。

(監督体制)

- 第5条 監督体制は、次の各号の監督員を置くものとし、原則としてそれぞれ当該各号に掲げる 職員をもって充てる。
  - (1) 総括監督員 工事担当課の長等
  - (2) 主任監督員 工事担当課の係長
  - (3) 担当監督員 工事担当課の主任以下の職員
- 2 前項の規定にかかわらず、別に定める規模の工事においては、総括監督員に工事担当課の係 長を充てることとする。この場合において、総括監督員は主任監督員の業務を併せて担当する

ことができる。

3 前2項の規定にかかわらず、工事担当課の長等は特に必要と認める場合においては、同項で 規定する監督体制以外の体制を命ずることができる。

# (受注者への通知)

- 第6条 京都市長は、監督員を置いたときは、工事請負契約書(以下「契約書」という。)第1 1条第1項及び第3項の規定に基づき、その氏名及び権限について監督員通知書(第1号様式) により受注者に通知しなければならない。
- 2 監督員を変更したときは、監督員変更通知書(第2号様式)により受注者に通知しなければならない。

### (監督員の事務)

第7条 監督員は、京都市都市計画局建築請負工事監督細目に定めるところにより設計図書(契約の変更があるときには、変更後のもの)の内容のとおり工事が施工されるよう監理しなければならない。

### 第3章 検査

(定義)

- 第8条 この要綱において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところ による
  - (1) 完成検査 契約書第34条 (検査及び引渡し) の規定に基づき行う完成した工事目的物を対象とした検査をいう。
  - (2) 既済部分検査 次に掲げる検査をいう。
    - ア 契約書第40条(部分払)の規定に基づき行う、工事材料又は完成した出来形部分を対象とする検査
    - イ 契約書第41条(部分引渡し)の規定に基づき行う、工事の完成に先だって引渡しを受ける既済部分を対象とする検査
    - ウ 契約書第43条(債務負担行為等に基づく複数年契約の前金払の特則)の規定に基づき 行う、前会計年度末における請負代金相当額が前会計年度までの出来高予定額に達したこ とを確認する検査
    - エ 契約書第48条(発注者の催告による解除権)、第49条(発注者の催告によらない解除権)及び契約書第55条(解除に伴う措置)の規定に基づき行う、既済部分に対する検査
    - オ 京都市都市計画局スライド条項(減額)、(増額)実施マニュアル及び単品スライド(増額)、(減額)運用マニュアルの規定に基づき行う出来形の検査
  - (3) 中間検査 工事施工の中間段階における工事を対象とする検査をいう。

(検査)

第9条 地方自治法第234条の2第1項の規定による検査(以下「検査」という。)は、検査

担当課の職員が行う。

(定義)

第10条 この要綱において、「検査職員」とは、前条の規定により検査を行う職員をいう。

## (検査職員の事務)

第11条 検査職員は、京都市都市計画局建築請負工事検査細目に定めるところにより、適正な 検査の事務を行わなければならない。

### (完成検査の内容)

- 第12条 完成検査の対象は、次の各号に掲げるものとする。
  - (1) 契約条件(契約に変更があったときは、変更後の契約条件)に関する事項
  - (2) 施工管理及び現場管理の実施状況に関する事項
  - (3) 出来形及び品質に関する事項
  - (4) その他受注者に課せられた義務の履行に関する事項
- 2 検査職員は、契約書、設計図書(契約の変更があったときは、変更後のもの)その他の関係 書類に基づいて工事の適否を判定するものとする。

### (検査の申請)

- 第13条 監督員は、受注者から工事の完成の通知を受け、監督員が工事の完成を確認したときは、速やかに次の各号に掲げる書類に必要な事項を記入の上、検査職員に提出するものとする。
  - (1) 完成通知書(第3号様式)
  - (2) 完成検査調書(第4号様式)
  - (3) 工事成績評定採点表 (第5号様式の1又は第5号様式の2)
  - (4) 施工プロセスチェックリスト (別紙-5)
- 2 前項の1号から3号については、1部提出し、4号は電子データで提出する。

# (検査日時の連絡)

第14条 検査職員は、前条第1項各号に掲げる書類を受理したときは、速やかに検査日時を定めて担当監督員に連絡しなければならない。

### (完成通知書)

第15条 検査職員は、完成検査を終了したときは、完成通知書を速やかに担当監督員に返却しなければならない。

### (完成検査調書)

第16条 検査職員は、完成検査を終了したときは、完成検査調書を作成し、速やかに担当監督 員に返却しなければならない。

### (工事成績評定採点表)

第17条 検査職員は、完成検査を終了したときは、工事成績評定採点表を作成しなければならない。

(検査の中止)

- 第18条 検査職員は、検査対象が、次の各号に掲げる場合には、検査を中止することができる。
  - (1) 検査対象となる工事が、検査水準に達していないとき
  - (2) 検査対象となる書類が、検査水準に達していないとき
  - (3) その他検査職員が検査に支障があると判断したとき

附則

(施行期日)

1 この要綱は、平成10年7月1日から施行する。

(関係要綱の廃止)

- 2 次の各号に掲げる要領は、廃止する。
  - (1) 工事監督要領
  - (2) 工事検査要領

附則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成15年5月23日決定)

(施行期日)

1 この要綱は、平成15年6月1日から施行する。

(適用区分)

2 この要綱による改正後の京都市都市計画局建築請負工事監督・検査要綱の規定は、この要綱 の施行の日以後に契約した工事から適用する。

附 則(平成17年3月31日決定)

(施行期日)

1 この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

(適用区分)

2 この要綱による改正後の京都市都市計画局建築請負工事監督・検査要綱の規定は、この要綱 の施行の日以後に契約した工事から適用する

附 則(平成23年5月23日決定)

(施行期日)

1 この要綱は、平成23年6月1日から施行する。

(適用区分)

2 この要綱による改正後の京都市都市計画局建築請負工事監督・検査要綱の規定は、平成23 年4月1日以後に契約した工事から適用する 附 則(平成28年3月25日決定)

(施行期日)

1 この要綱は、平成28年4月1日から施行する。

# (適用区分)

2 この要綱による改正後の京都市都市計画局建築請負工事監督・検査要綱の規定は、この要綱 の施行の日以後に契約した工事から適用する

附 則(令和2年3月31日決定)

(施行期日)

1 この要綱は、令和2年4月1日から施行する。

### (適用区分)

2 この要綱による改正後の京都市都市計画局建築請負工事監督・検査要綱の規定は、この要綱 の施行の日以後に契約した工事から適用する

附 則(令和4年6月30日決定)

(施行期日)

1 この要綱は、令和4年7月1日から施行する。

## (適用区分)

2 この要綱による改正後の京都市都市計画局建築請負工事監督・検査要綱の規定は、この要綱 の施行の日以後に契約した工事から適用する

附 則(令和6年4月1日決定)

(施行期日)

この要綱は、令和6年4月1日から施行する。

第		号
年	月	日

# 監督員通知書

(受 注 者)

様

京都市長 (担当: 都市計画局 課)

契約書第11条第1項及び第3項に基づき下記のとおり通知します。

記

1	工 事 名(	)
2	工事場所(	)
3	置いた監督員  □ 総括監督員・職氏名(  □ 主任監督員・職氏名(  □ 担当監督員・職氏名(  □ 担当監督員・職氏名(  )  □ 力当監督員・職氏名(  )  □ 力計	

- 4 監督員の権限は京都市都市計画局建築請負工事監督細目第3条第2項のとおり
- 5 上記の監督員以外に、地方自治法施行令第167条の15第4項に定める者に監督の権限の一部 を委任した場合の監督員の氏名及び権限内容

注: □内には、該当する項目にレを記入すること。

		監督	. 負	変 史	通	知書	
受	注 者)	様					
					京者	都市長	
					担当	:都市計画局	課)
				記			
				ДL			
1 工	事 名(						)
2 I	事場所(						)
3 変	更があった日(	年	月日	3 )			
4 変	更があった監督員						
	総括監督員・職民	氏名 (				)	
	主任監督員・職民	氏名(				)	
	, , , , , , , , , , , , , , , , ,					)	
	〕担当監督員・職民	5名(				)	
5 監	督員の権限は京都市	市計画局	建築請負コ	工事監督細目	目第3条第	第2項のとおり	
6 L	記の彫叔昌 ロカル	抽卡白沙法	坛/字/本符 1	167冬の1	5 笠 4 珲	に会める老に彫刻	の接ばしの一立に

- 6 上記の監督員以外に、地方目治法施行令第167条の15第4項に定める者に監督の権限の一部 を委任した場合の監督員の氏名及び権限内容
- 注: □内には、該当する項目にレを記入すること。

第3号様式(第13条第1項第1号関係)

総括監督員 確 認 印

# 完成通知書

年 月 日

京都市長 様

(受注者)住 所商号又は名称代表者名

下記工事が完成しましたので、工事請負契約書第34条第1項の規定に基づき通知します。

記

- 1 工 事 名
- 2 請負代金額
- 3 完成年月日 年 月 日

### 第4号様式(第13条第1項第2号関係)

完成検	<b>査調書</b>				
受注者					
請負代金額		変	更請負代金額		
	近 日 数 の最終日の翌日より)	日	修補等手直し工	事完了届の添付	無

検査年月日			所 属	
<b>火旦十</b> 万 口		監督員	総括監督員職氏名	
検査職員	都市計画局 都市企画部 都市総務課	監官具	主任監督員職氏名	
職氏名	印		担当監督員職氏名	

検 査 日

### 項目別評定点

工事名

契約工期

完成通知

年月日

	評価項目	細	別	評	定	点	満	点	
1	施工体制	(1)施工体制一般			点		3	. 3	点
		(2)配置技術者			点		4	. 1	点
2	施工状況	(1)施工管理			点		13	. 0	点
		(2)工程管理			点		8	. 1	点
		(3)安全対策			点		8	. 8	点
		(4)対外関係			点		3	. 7	点
3	出来形及び出来ばえ	(1) 出来形			点		14	. 9	点
		(2)品質			点		17	. 4	点
		(3)出来ばえ			点		8	. 5	点
4	工事特性	(1)施工条件等への対応	(加点のみ)		点		7	. 3	点
5	創意工夫	(1)創意工夫	(加点のみ)		点		5	. 7	点
6	社会性等	(1)地域への貢献等	(加点のみ)		点		5	. 2	点
7	評定点計				点			100	点
8	法令遵守等		(減点のみ)		点				点
9	評定点合計			•	点		(注)		

から

上記工事については、設計図書、仕様書及びその他関 係図書に基づき完成検査を行った結果、これらのとおり 完成したことを確認する。

契約年度

契約番号

## 補足

- ・評定は、「京都市都市計画局建築請負工事成績評定要領」による。
- ・評定点合計は、小数点第1位を四捨五入して整数とする。

契約年度	契約番号
00	00000
00	00000

# 完成検査調書

工事名	京都市〇〇〇〇〇〇〇〇工事		受注者	○○○○○○○○○○○○○○建	設株式会社 代	表取締役 〇〇 〇	00 00						
	ただし、000000工事		請負代金額	¥000, 000,	000円	変更請負代金額	¥000, 000, 000P						
契約工期	○○年○月○日 から	○○年○月○日		延 日 数 の最終日の翌日から)		日修補等手直し	工事完了届の添付	有 • 無	無				
完成通知年月日	○○年○月○日			検 査 日		OO年C	月〇日						
検査年月日	○○年○月○日			所 属	都市計画局○○部○○課								
恢 1 十 月 日	0040701		監督員	総括監督員職氏名	0000	00 00							
伊且彻只	都市計画局 都市企画部 都市総務課		血自貝	主任監督員職氏名		0000	00 00						
職氏名	0000 00 00	印		担当監督員職氏名									

### 項目別評定点

-	評 価 項 目	細	別	評 定	点	満	点
1	施工体制	(1)施工体制一般		点		3.	3 点
		(2)配置技術者		点		4.	1 点
2	施工状況	(1)施工管理		点		13.	0 点
		(2)工程管理		点		8.	1 点
		(3)安全対策		点		8.	8 点
		(4)対外関係		点		3.	7 点
3	出来形及び出来ばえ	(1)出来形		点		14.	9 点
		(2)品質		点		17.	4 点
		(3)出来ばえ		点		8.	5 点
4	工事特性	(1)施工条件等への対応	(加点のみ)	点		7.	3 点
5	創意工夫	(1)創意工夫	(加点のみ)	点		5.	7 点
6	社会性等	(1)地域への貢献等	(加点のみ)	点		5.	2 点
7	評定点計			点		1	00 点
8	法令遵守等		(減点のみ)	点	•		点
9	評定点合計			注)	-		

上記工事については、設計図書、仕様書及びその他関係図書に基づき完成検査を行った結果、これらのとおり 完成したことを確認する。

### 補足

- ・評定は、「京都市都市計画局建築請負工事成績評定要領」による。
- ・評定点合計は、小数点第1位を四捨五入して整数とする。

## 第5号様式の1 (第13条第1項第3号関係)

# 工事成績評定採点表

工事名	京都市○○○○工事 ただし、○○主体工事															契約(当								契約年(当								検査日				検査 年月日			
受注者																契約	番号							契約年(最								完成年月	通知			'			
監督員 所属部課								請負 代金額				変更 請負 代金額				契約 工期								~														_	
考	查項目		監督員 氏名				印	総	括監督 職氏名	·員					印			検査	職員	(中間	1)					検査	職員	(中間	2)				食査職員 職氏名						印
項目	細別	a	b	с	d	е	評価	a	a'	b	b'	С	d	е	評価	a	a'	b	b'	c	d	е	評価	a	a'	b	b'	С	d	е	評価	a	a'	b	b'	С	d	е	評価
1. 施工体制	I 施工体制一般	+1.0	+0.5		-5.0	-10																																	
	Ⅱ配置技術者	+3.0	+1.5		-5.0	-10																																	
2. 施工状況	I施工管理	+4.0	+2.0		-5.0	-10										+5.0	-	+2.5	-		-7.5	-15		+5.0	-	+2.5	1		-7.5	-15		+5.0	-	+2.5	1		-7.5	-15.0	l
	Ⅱ工程管理	+4.0	+2.0		-5.0	-10		+2.0	-	+1.0	-		-7.5	-15																									
	Ⅲ安全対策	+5.0	+2.5		-5.0	-10		+3.0	-	+1.5	-		-7.5	-15																									
	IV対外関係	+2.0	+2.0 +1.0 -2.5 -5.0																																				
3. 出来形	I 出来形	+4.0	+2.0		-2.5	-5.0										+10	+7.5	+5.0	+2.5		-10	-20		+10	+7.5	+5.0	+2.5		-10	-20		+10		+5.0			-10	-20	
	Ⅱ品質	+5.0	+2.5		-2.5	-5.0											+12		+4.0		-12.5	-25		+15	+12		+4.0		-12.5						+4.0		-12.5	-25	<u> </u>
	Ⅲ出来ばえ															+5.0	-	+2.5	-		-5.0	-		+5.0	-	+2.5	-		-5.0	-		+5.0	-	+2.5	-		-5.0	-	
4. 工事特性	I施工条件等への対応	(**2)	)																																				
	I 創意工夫(※3)				-	-																																	
	I 地域へ貢献等(※4)							+10	+7.5	+5.0	+2.5		-	-																									
加減点合	計 (1+2+3+4+5+6)				点								点								点								点								点		
評	主 点 (※1)	1			点			2					点			3					点			3					点			4					点		
7. 評定点	計(※5)			点 (	① 点>	×0.4+(	② 点>	< 0.2+	④ 点×	0.4) =	評定	点計				点																							
	※ 中間検査があった場合 (① $\times$ 0. $4+2\times$ 0. $2+3\times$ * 中間検査がなかった場合 (① $\times$ 0. $4+2\times$ 0. $2+4\times$										0. 2	2+4	× O . 細目別	2) = 川評定	=細目 点	別評別	<b></b>	中間が	5 2 回	以上の	)場合(	は③を	平均了	ける。	)														
8. 法令遵	令遵守等(※6) 点 法令遵守等の該当事由																																						
9. 評 定	点 合 計 (※7)				点	評定	点計	(	点) -	7.法	令遵守	字等 (	点	() =	点	į	(1回5	2済分		点、	2回完	済分		点、	完成分	34	点)												
		総	括監督	員																																			
所	見 (※8)	主	任監督	子員																									-							-			
	検査職員																																						
		検査職員																																					

	課長	係長		課長	係長
決 裁 欄工事担当課			決 裁 欄 検査担当課		

	第5号様式の2(第	第13条第1項第3号関係)								度(当初)						契約年月	日(当初	)					
	工事成績								契約番号	<del>}</del>						契約年月	日(最終	.)					
工事名																契約工期				~			
受注者												検査日				検査 年月日				完成通知 年月日			
نيد.								請負代 金額				変更請負代金額											
考	:查項目	主任監督	賢員又は 野員職氏 名				印		監督員職	哉氏名					印	検3	查職員職日	氏名					印
項目	細別	a	b	С	d	е	評価	a	a'	b	b'	С	d	е	評価	a	a'	b	b'	С	d	е	評価
. 施工体制	I施工体制一般	+1.0	+0.5		-5.0	-10																	
	Ⅱ配置技術者	+3.0	+1.5		-5.0	-10																	
. 施工状況	I施工管理	+4.0	+2.0		-5.0	-10										+5.0	-	+2.5	-		-7.5	-15.0	
	Ⅱ工程管理	+4.0	+2.0		-5.0	-10		+2.0	-	+1.0	-		-7.5	-15									
	Ⅲ安全対策	+5.0	+2.5		-5.0	-10		+3.0	-	+1.5	-		-7.5	-15									
	IV対外関係	+2.0	+1.0		-2.5	-5.0																	
3. 出来形	I 出来形	+4.0	+2.0		-2.5	-5.0										+10	+7.5	+5.0	+2.5		-10	-20	
	Ⅱ品質	+5.0	+2.5		-2.5	-5.0										+15	+12	+7.5	+4.0		-12.5	-25	
出来ばえ	Ⅲ出来ばえ															+5.0	-	+2.5	-		-5.0	-	
. 工事特性	I施工条件等への対応	(※2)																					
. 創意工夫	I 創意工夫(※3)				-	-																	
. 社会性等	Ⅰ 地域へ貢献等(※4)							+10	+7.5	+5.0	+2.5		-	-									
加減点合	計 (1+2+3+4+5+6)				点								点								点		
評分	定点 (※1)	1			点			2					点			4					点		
7. 評定点	計			点 (①	点×0.4	+② 点×	0.2+4	点×0.4)=	= 評定点	計													
8. 法令遵	<del>守等</del> ( <b>※</b> 5)				点		法令遵守	等の該当	事由														
9. 評 定	点 合 計 (※6)				点 評	定点計(	点)	- 7. 法令	遵守等	( 点)	= 点												
		ž	総括監督員	į.																			
所	見(※7)	担当監督	員又は主	任監督員																			

	課長	係長		課長	係長
決 裁 欄 工事担当課			決 裁 欄 検査担当課		
工事品口帐			TK II II I III		

検査職員

# 別紙-5(第13条第1項第4号関係)

# 施工プロセスチェックリスト

1. 工事名	京都市〇〇〇〇工事 ただし、〇〇主体工事	所属部課	0
2. 工 期	令和-118年1月0日~令和-118年1月0日	担当監督員職氏名	主任 〇〇〇〇
3. 受注者名	〇〇·××特定建設工事共同企業体 株式会社〇〇 〇〇〇〇		

- ①施エプロセスチェックリストは、標準仕様書、契約書等に基づき、施工に必要なプロセスが適切に管理されているかを担当監督員が確認する。
- ②チェック欄には書類もしくは現場等で確認した月日を、その内容が適切であれば口にレマークを記入する。(必要に応じて指示事項等をメモで記入してもよい。)備考欄には指示事項、是正状況、取組状況等を記入する。

考查項目	確認項目	チェックリストー覧表	チェック欄(指示事項等)									備考
項 .	川 唯認項目	(チェックの目安)	着手前 施工中									1佣-5
1	[ ○品質・安全管理体 制 □ ○建設業退職金共	・品質及び安全計画に見合う管理体制が確立されている。 (施工計画書提出時)		/	/	/	\ 	/	/	/		
制	<sup>削</sup> 済制度 -	・掛金収納書の写しを契約締結後1か月以内に提出した。 (契約後、増額変更後)	/	/	/	/	/	/	/	/		
	<del>Q</del>	・建設業退職金共済証紙の配布を受け払い簿等により適切に管理している。 (施工中適宜)		\	/	/	\	\	\	\		
		・「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を現場に掲示している。 (施工中1回程度)		\	/	/	\	\	\	\		
	○請負代金内訳書	・請負代金内訳書を契約締結後14日以内に提出した。 (契約後)	\									
	〇労働保険関係成 立票	・労災保険関係成立票を工事現場の見やすい場所に掲示している。 (施工中1回程度)		\	/	/		\		\ _		
	○建設業許可標識	・建設業法に定められた標識を正しく記載し、公衆の見やすい場所に 設置している。(掲示義務は元請のみ。施工体系図は全ての下請を 含む)(施工中適宜)		/	/	/		/		/		
	〇施工体制台帳、施工体系図または作業 分担に関する資料	・施工体制台帳及び施工体系図を現場に備え付け、かつ、同一のも のを提出した。 (施工時の当初、変更時)		/	/	/		/	/	/		
		・施工体制台帳に下請負契約書等(写)(再下請業者を含む。)を添付している。 (施工時の当初、変更時)		/	/	/		/		/		
		・施工体制台帳及び添付書類の「健康保険等加入状況」に、加入又は適用除外と記載している。 (施工時の当初、変更時)		\ _	/	/	\	\	\	\		
		・施工体系図を現場の工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲げている。 (施工時の当初、変更時)		\ _	/	/	\	\	\	\		
		・施工体系図または下請負人通知書等に記載されている業者のみが作業している。 (施工時適宜)		/	/	/	\	\	\   	\		
		・元請負人がその下請工事の施工に実質的に関与している。(下請工事がある全ての工事に適用する。) (施工時の当初、変更時)		/	/	/	/	/	/			

# 施工プロセスチェックリスト

考查項	田 確認項目	チェックリスト一覧表 (チェックの目安)										
目			着手前				施工中				完成時	備考
1 施 工 体	置	・事前に監督員の確認を受け、契約締結後等の10日以内(休日を除く。)に登録機関に申請し、登録されることを証明する資料を、監督員に提出した。 (契約後、変更後、完成時)	/	\ 	\	\	\	\	\	\		
制	支 〇現場代理人 析 各	・現場に常駐している。 (施工中適宜)			\	\	\	\	\	\		
	<del>7</del>	・監督員への通知、報告、申出等を書面で行っている。 (施工中適宜)			\	\	\	\	\	\		
	〇監理技術者(主任 技術者)(監理技術 者補佐)の専任制等	(着手前)	/									
		·配置予定技術者または現場代理人等通知書等に記載されている 技術者が本人と同一であった。 (着手前)	/									
		・工事実績情報登録において重複が無く、現場に専任している。(請 負代金額が建設業法施行令で定める金額以上の場合) (監理技術者が特例監理技術者であり他工事現場を兼任している場 合は、当該工事と当該工事の他1工事の工事実績情報登録により、 監理技術者補佐の専任について確認する。)(施工中適宜)							\ 			
		・施工計画や工事に係る工程、技術的事項を把握し、主体的に係わっていた。 (特例監理技術者の指導により監理技術者補佐が適正に実施した場合も、監理技術者が実施したものとして確認する。) (施工中、打合せ時)			\	\	\	\	\	\		
	○専門技術者の 配置	・専門技術者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工中適宜)			\ _	\ _	\ _	\ _		\		
	〇作業主任者の 選任	・作業主任者を選任し、配置している。 (施工計画時、施工中適宜)		/	/	/	/	/	/	/		
	〇下請負者の把握	・指名停止期間中でない。 (施工中適宜)		/	/	/	/	/	/	/		
2 施 工	○設計図書の照査 毎 等	・工事請負契約書第20条第1項第1号から第4号に係わる設計図書の 照査を行っている。 (着手前、施工中適宜)	/		\	\	\	\ _	\ _	\		
状況	里	・現場との相違事実がある場合、その事実が確認できる資料を書面により提出して確認を受けた。 (着手前、施工中適宜)	/	\ _	\	\	\ _	\	\ _	\ _		
	〇施工計画書	・施工に先立ち、設計図書等の内容を反映したものを提出した。 (着手前、変更時)	/	/	\ _	\ _	\ _	\ _	\ <sub> </sub>	\ _		
		・記載内容と現場施工方法が一致している。 (施工中適宜)		/	/	/	/	/	/	/		

# 施工プロセスチェックリスト

考查:	细 確認項目	チェックリスト一覧表		チェック欄(指示事項等)									
項 目		(チェックの目安)	着手前 施工中									備考	
2 施	I ○施工管理 毎・建築材料 機材の	・建築材料、機材に関する資料の整理及び確認がなされている。 (施工中適宜)		/		/	/	/	/	/			
状況	世 管理 ・出来形、品質管理 里	・日常の出来形、品質管理が適時、的確に行われている。 (施工中適宜)		/				/	/				
	〇建設副産物及び建 設廃棄物	・受注者は、産業廃棄物管理票(マニフェスト)により適正に処理されていることを確認し、監督員に提示した。 (施工中適宜)		\ _		/	/	\	\ _				
		・再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を所定の様式 に基づき作成し、着工関係書類等に含め提出した。 (施工中適宜)	/	/	/	/	/	/	/	/			
	I ○工程管理 I □ II □ II □ II □ II □	・施工前に各種工程表を提出している。 (着手前、施工中適宜)											
	里	・工程の把握に努め、必要に応じ、フォローアップを行っている。 (施工中適宜)		\				\	\				
	Ⅲ ○安全活動 安全 全 対策	・安全活動を実施し、記録がある。(必要に応じ、以下の内容をチェックする。) ①災害防止協議会等(施工中適宜) ②店社パトロール(施工中適宜) ③安全教育、訓練等(施工中適宜) ④安全巡視、TBM、KY等(施工中適宜) ⑤新規入場者教育(施工中適宜)											
	○仮設備点検等	・仮設備点検等を実施し、記録がある。(必要に応じ、下記の内容をチェックする。) ①過積載防止対策(施工中適宜) ②機械・車両等点検整備等(施工中適宜) ③重機操作時安全点検記録等(施工中適宜) ④山留め、仮締切等の点検及び管理記録 (施工中適宜) ⑤足場、支保工の組立完了時・使用中の点検及び管理記録(施工中適宜)		/				/					
	V ○関係機関等 付 小 外 関	・関係機関等との調整等を実施し、記録がある。(必要に応じ、下記の内容をチェックする。) ①関係官署(施工中適宜) ②近隣住民・入居官署等 (施工中適宜) ③関連工事等(施工中適宜)		/		/		/	/				